

授業科目名	災 害 と 看 護			担当教員	清末 定美 小川 里美	
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	30 (2)	
必修選択	必修	授業形態	講義・演習	使用教室		
授業の目的	災害サイクルの特徴を概観し、各サイクルにおける健康課題や看護ニーズ、看護職者の役割について理解するとともに、災害看護に必要な基礎的能力を習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の概念、世界各地で発生する災害の特徴と課題を理解する。 2. 災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を説明できる。 3. 災害サイクル、被災者の特性に応じて看護ニーズを考察できる。 4. 基本的なトリアージ、応急手当を実施できる。 5. 災害管理における看護職者の役割について考察できる。 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	世界各地で発生する災害の特徴と課題を概観し、災害とは何か、災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を考え、災害医療の特徴を理解する。	講義	最近、国内外で起こった災害について調べておく(予習)。講義資料で不明な点を調べる(復習)。	30分 30分	清末	
2	災害急性期の看護の特徴について理解する。(1)	講義	赤十字救護班と活動について調べ(予習)、応急手当について見直しておく(復習)。	30分	小川	
3	災害急性期の看護の特徴について理解する。(2)	講義	DMATの活動について調べる(予習)。	60分	清末	
4	災害急性期・亜急性期の避難所における健康問題を考える。	講義	災害支援ナースの活動について調べる(復習)。	30分	清末	
5	災害各期の被災者の心理・社会的状況と支援について理解するとともに、救援者にもこころのケアなどの支援が必要であることを理解する。	講義	テキスト第2章を読み、災害と心のケアについて疑問点を明らかにしておく(予習)。	60分	清末	
6	仮設住宅・復興住宅における健康問題を理解し、災害慢性期の看護について考える。	講義	仮設住宅での生活について調べる(予習)。	30分	小川	
7	放射線災害の特性を理解する。	講義	テキスト第2章の被曝が身体に及ぼす影響を読み、質問事項を考えておく(予習)。	60分	ゲスト スピーカー	
8	災害静穏期・準備期の看護について理解する。(1)	講義 演習	ハザードマップについて調べる(予習)。	30分	清末	
9	災害静穏期・準備期の看護について理解する。(2)	講義 演習	静穏期・準備期に取り組むべきことをまとめる(予習)。	60分	清末	
10	災害静穏期・準備期の看護について理解する。(3)	講義 演習	災害訓練について考える(復習)	30分	清末	

11	被災者のニーズと看護について考える。(災害訓練)	演習	講義の要点、赤十字救護・援助法を見直しておく(予習)。看護師としてどのように災害に備えるかを考える(復習)。	30分 30分	清末 小川 本学教職員	
12						
13						
14	地域に必要な災害への備えについて考える。	講義 演習	グループで課題に取り組み、発表の準備をする。	60分	清末 小川	
15	被災者のニーズを看護について考える。 課題のフィードバック	講義 演習			清末 小川	
先行履修科目						
テキスト		浦田喜久子 他：災害看護学・国際看護学. 医学書院, 2017. その他、適宜、資料を配布する。				
参考文献		いのうせつこ：地震は貧困に襲いかかる－「阪神・淡路大震災」死者 6437 人の叫び. 花伝社, 2008. 石巻赤十字病院, 由井りょう子:石巻赤十字病院の 100 日間－東日本大震災 医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録. 小学館, 2011. 額田勲：孤独死－被災地で考える人間の復興. 岩波書店, 2013. Veenema, T.G. : Disaster Nursing and Emergency Preparedness for Chemical,Biological, and Radiological Terrorism and other Hazards.3rd.Edition.Springer Publishing Company, 2013. その他、授業中に紹介する。				
メッセージ		災害時の看護は、状況の特性こそあれ、日常の看護の延長線上にあります。授業では、学んできた知識をフル活用して取り組むことを期待しています。演習やグループ発表を通じて、災害時の人々の健康支援を考え、今一度、看護とは何か、看護職に求められる役割とは何か、見識を新たにしてください。				
科目の位置づけ		この科目は〈看護の統合〉科目の1つである。これまでに学んできたことを土台とし、災害という緊急事態における看護を考えていくために必要な基本的知識の修得を目指す。				
ディプロマポリシーとの関連		人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○		◎		
評価方法		授業への参加度 10%、演習の取り組み・成果 40%、課題レポート 50%				